

世界で活躍するサイクリストファミリーが町長・副町長と対談（広島県安芸太田町）

家族 4 人で世界中を旅するノマドサイクリスト・パッシュファミリーが 11 月 13 日と 15 日、安芸太田町役場を訪れ、橋本博明町長・木村富美副町長と対談しました。

既存のサイクリングルート在海外のサイクリストが訪れたいくなる地域の観光の目玉として磨き上げるため、同町長が代表理事を務める一般社団法人地域商社あきおたと当社が連携して推進するサイクルツーリズム開発事業において、町内のルート開発・観光資源発掘・海外発信を担うアンバサダーとしてファミリーを招聘しました。

2010 年から自転車で世界中をめぐる旅を始めたスイス人のグザヴィエ&セリーヌ・パッシュ夫妻。旅の途中で生まれた二人の娘とともに世界中を旅するファミリーは、これまで 14 年間、世界中で 200 以上のトークイベントやツーリズム開発に関わり、十数社のアウトドアギアメーカーとパートナー契約を結んでいます。



ファミリーは、今年 6 月に 2 週間、町に滞在して様々な観光資源を視察するとともに、訪日客やサイクリストが利用しやすい観光施設や体験のありかたについて様々なアドバイスを実施しました。また、当社のサテライトオフィスがある広島県立加計高等学校では、生徒

たちと交流イベントを実施し、国際交流に力を入れる同校生徒との交流の姿が地域の話
になりました。



加計高校生徒・地元事業者の皆さんとパッシュファミリー

ファミリーは11月に町を再訪問して2週間滞在し、さらに詳細なサイクリングマップを
作成。ルート沿いにある飲食店や寺社仏閣、庭園、体験施設などを歴訪して、地域の魅力発掘
を担いました。

町長・副町長との対談では、夏秋1か月にわたる滞在を通してファミリーが作成したル
ートマップを共有し、世界に向けたサイクルツーリズム開発への取組を提案。手つかずの自然
を活かした奥安芸らしい観光政策の重要性を語ってくれました。



橋本町長とパッシュファミリー



木村副町長とパッシュファミリー

■パッシュファミリー

2010年から自転車で世界を旅するスイス人のグザヴィエ&セリーヌ夫妻。スイスからニュージーランドまでの走破を皮切りに、旅の途中マレーシアで生まれた2人の娘ナイラとフィビーとともに、家族全員でノマド生活を送っている。世界中をサイクルトリップするノマドライフと異文化交流を通じて得た経験を世界に発信している。長女ナイラは自転車でオーストラリアのヌラボール砂漠を横断した最年少の子供であり、次女フィビーは自転車で世界で最も寒い砂漠ゴビ砂漠を横断した最年少の赤ちゃんである。モンベルや ORTLIEBをはじめとする世界中のアウトドアギアブランド十数社と提携し、サステナブルな旅のスタイルを広めている。

近年の主な実績：

2019年 モンベル・チャレンジ・アワード受賞

2022年 ジャパンエコトラック公式アンバサダー就任

2023年 Vitality. Swiss (バイタリティ ドット スイス) のゲスト就任

2023年 モンベル・チャレンジ・アワード受賞

2024年 広島県安芸太田町サイクルツーリズムプロジェクトのアンバサダー就任

■問い合わせ先

経営管理部（担当：増井）

contact@go-mirai.jp